

B U S I N E S S R E P O R T

企業価値を高める
セールスプロモーション

株主・投資家の皆様へ

第45期第2四半期ビジネスレポート

平成27年8月1日～平成28年1月31日

CONTENTS

トップメッセージ	02
業績の推移	03
第45期 上期トピックス	04
第45期 第2四半期連結財務諸表	06
会社概要・株式の状況	07

 **総合商研株式会社**

(証券コード：7850)

株主の皆様へ

To our shareholders



代表取締役会長 加藤 優



代表取締役社長 片岡 廣幸

株主の皆様には、平素より当社をお引き立て頂きまして、誠にありがとうございます。ここに第45期 第2四半期連結累計期間（平成27年8月1日～平成28年1月31日）のビジネスレポートをお届けするとともに、日頃の温かいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内総生産（GDP）の速報値が個人消費の低迷等により前期比年率1.4%のマイナス成長となりました（平成27年10～12月期）が、基調としては企業収益・個人雇用・所得環境等の改善が続いており緩やかな景気回復が期待されております。

当社グループは、広告業界及び印刷業界の両分野にまたがり、幅広く販売促進支援業を行っております。広告業界では、フリーペーパーや、屋内外POP、イベント用展示・映像を中心としたセールスプロモーション（販売促進）分野が徐々に拡大をみせております。一方の印刷業界は、Webマーケティングの多様拡大に伴い、紙媒体の印刷需要が縮小する状況が続いております。

このような環境のもと、平成27年12月、自社で制作・発行する「北海道応援マガジンJP01」が、おかげさまで日本タウン

誌・フリーペーパー大賞にて全国276誌の中から大賞を受賞いたしました。これらの活動を通じ構築してきたネットワークと企画力を活かした地方自治体の地方創生推進支援事業に注力し、受注を伸ばしております。その一方で、前期に取得した伊勢原第一工場へ業務を集約するため、伊勢原第二工場を閉鎖するのに関連し、一時的に経費が発生し製造原価の増加が利益を圧迫いたしました。

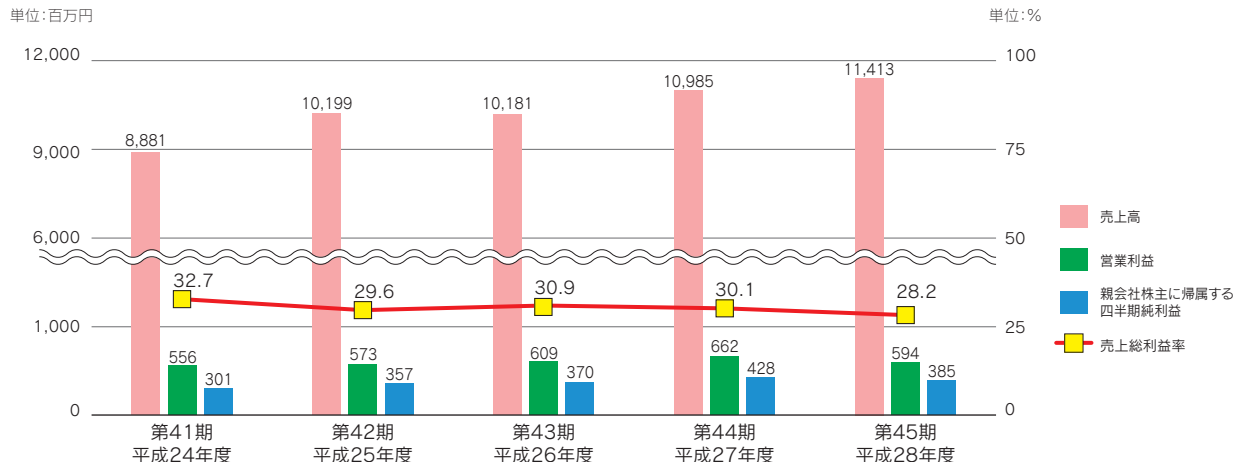
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,413百万円（前年同四半期比428百万円増）となりました。また、営業利益は、594百万円（前年同四半期比67百万円減）、経常利益は613百万円（前年同四半期比67百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、385百万円（前年同四半期比42百万円減）となりました。

今後も、経営環境の厳しさは続くものと思われませんが、地方創生と販売促進支援機能を強化した事業展開を進め、一層の業績拡大に取り組んで参ります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年4月

第2四半期連結累計期間の業績の推移



【事業ごとの業績】

【年賀状印刷事業】

年賀状印刷事業においては、大口顧客からの受注が堅調に推移したことで、名入れ年賀状が178万件（前年同四半期比13万件増）、バック年賀状が594万バック（前年同四半期比14万バック増）となり、当事業の売上高は6,291百万円（前年同四半期比537百万円増）となりました。

利益につきましては、売上高の増加に伴い営業利益は816百万円（前年同四半期比59百万円増）となりました。

【商業印刷事業】

商業印刷事業におきましては、東京エリアでの既存顧客の受注に苦戦し、当事業の売上高は4,829百万円（前年同四半期比104百万円減）となりました。

利益につきましては、伊勢原第二工場の閉鎖に関連し一時的な損失の発生及び移転作業中の外注費増加等の影響により、営業損失は1百万円（前年同四半期の営業利益は142百万円）となりました。

【ふりっば一事業】

ふりっば一事業におきましては、恵庭市における地域振興イベント「えにわん産業祭」の企画・運営を行う等、行政関連の業務を増やし営業の幅を広げる一方で、新規顧客の広告営業が苦戦し、当事業の売上高は236百万円（前年同四半期比10百万円減）、営業損失は34百万円（前年同四半期の営業損失は31百万円）となりました。

全国の まち・ひと・しごと を元気に！

地方創生事業が強化される中、当社の「まちおこしプロジェクト」の採用を各地より頂いております。当上期では、市町村PRを目的としたイベント企画・運営のほか、北海道新幹線開業に向けた情報発信事業等を受託してまいりました。

子会社「㈱味香り戦略研究所」とタイアップした、「旨さ」を活かす、特産品開発及びプロモーション法にも注目を頂いております。



◀ 恵庭市で初となる産業祭、「えにわん産業祭」をプロデュースし、出展企業として40社が参加されました。

目標来場者数2,500名に▶
し**5,267名**が来場しました。



◀ 湧き水の町北海道京極町。その特産品を活かし、藤女子大学と連携した新スイーツの商品開発をしました。

また、地方創生事業として、前期より特産品フェアの開催等に取り組んできた島根県PR事業。当上期では展開を拡大し、『JP01』の制作ノウハウを活用した島根応援マガジン『JP32』の発刊等に取り組んでまいりました。

今後も北海道を始め、全国の国内交流活性化を目指し、新たな事業展開を行ってまいります。



▲ 「島根人が知らない島根の魅力」を発掘・紹介する『JP32』。島根の地元メディアにも取り上げて頂き、反響を呼びました。



島根県産食品の商談会をプロデュース。「証拠のある味わい」を味覚エビデンスブックとして刊行し、配布しました。



JP01が大賞受賞 日本タウン誌・フリーペーパー大賞2015

経済産業省・観光庁等の後援にて開催され、全国各地のタウン誌・フリーペーパーを審査する本大会。今年度は全国276誌がエントリーされる中、当社の季刊フリーペーパー北海道応援マガジン『JP01』が、「日本タウン誌大賞」及び「観光長官賞 優秀賞」を同時受賞いたしました。これからも、地域の魅力再発見、経済活性化へ貢献してまいります。



後援：経済産業省・農林水産省・観光庁
日本観光振興協会

大賞受賞

好評発売中 「宝山特別限定酒・鹿児島ハイボール」

連結子会社製品「宝山特別限定酒 鹿児島ハイボール」(販売元 味香り戦略研究所)の取扱い店舗を拡大しております。東海道新幹線デリカステーション(のぞみ停車駅売店)、そごう・西武(全国)、ヤオコー(関東)の他、通販などでも購入ができるようになりました。是非この機会に、味覚分析で実証した深い味わいをお試しください。



お酒

「鹿児島ハイボール」350ml▶
(定価236円税込)

スピリッツ(発泡性)①
アルコール分7%

糖質ゼロ・プリン体ゼロ

WEB通販の取組みを開始

当期は、販売促進支援だけでなく、自らが販売者となる形で通販事業にも取り組んでいます。「ゼロワンショップ」では、まだまだ知られていない北海道の魅力ある食材の数々を販売。「リアルゴルフ オンラインショップ」では、ゴルフチケットの販売を行っております。

その他、「Amazon」での年賀状・季節商品商品を、随時更新して販売も開始しました。是非、ウェブサイトでもご覧ください。



ゼロワンショップはこちら▲



▲<http://jp01shop.com/>



▲<https://realgolf.jp>



▲人気No.1 完売

▲さるも木から落ちないカレンダー

四半期連結貸借対照表

単位(百万円)

科目	期別 前期末 平成27年7月31日	当第2四半期末 平成28年1月31日現在
資産の部		
流動資産	3,407	8,082
固定資産	4,705	4,932
有形固定資産	3,250	3,436
無形固定資産	213	284
投資その他の資産	1,241	1,212
繰延資産	-	4
資産合計	8,112	13,020
負債の部		
流動負債	2,661	6,352
固定負債	3,334	4,239
負債合計	5,996	10,592
純資産の部		
株主資本	1,818	2,173
資本金	411	411
資本剰余金	453	453
利益剰余金	972	1,328
自己株式	▲ 19	▲ 20
その他の包括利益累計額	293	252
非支配株主持分	3	2
純資産合計	2,116	2,428
負債純資産合計	8,112	13,020

四半期連結損益計算書

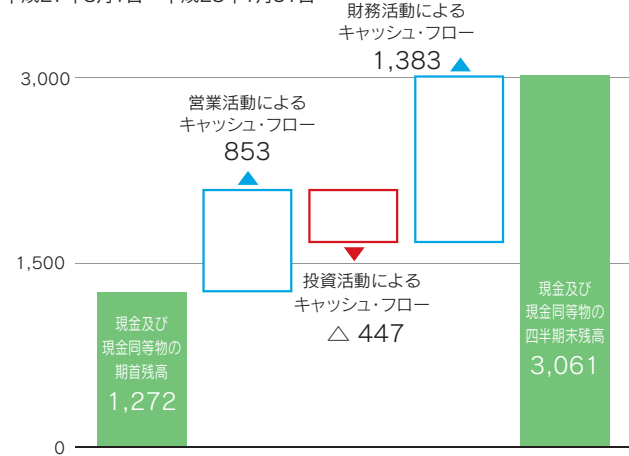
単位(百万円)

科目	期別 前第2四半期累計期間 自平成26年8月1日 至平成27年1月31日	当第2四半期累計期間 自平成27年8月1日 至平成28年1月31日
売上高	10,985	11,413
売上原価	7,681	8,196
売上総利益	3,304	3,217
販売費及び一般管理費	2,642	2,622
営業利益	662	594
営業外収益	50	53
営業外費用	32	35
経常利益	680	613
特別利益	-	-
特別損失	4	25
税金等調整前四半期純利益	675	587
法人税、住民税及び事業税	257	233
法人税等調整額	▲ 8	▲ 29
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	▲ 0	▲ 1
親会社株主に帰属する四半期純利益	428	385

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位(百万円)

平成27年8月1日～平成28年1月31日



配当金について

当社グループは、株主の皆様へ利益還元を経営上の重要な課題として捉え、企業体質の強化及び今後の事業展開に備えた内部留保を勘案しながら、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、剰余金の処分につきましては、以下のとおりいたします。

1. 中間配当 1株につき 10円
2. 支払開始日 平成28年4月15日(金)

会社概要

商 号	■ 総合商研株式会社
本 社 所 在 地	■ 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
設 立	■ 昭和47年12月18日
資 本 金	■ 411,920千円
従 業 員 数	■ 443名(単体416名)
主 要 事 業	■ 商業印刷事業 年賀状印刷事業 ふりっぱー事業 その他事業
事 業 所	■ 本社、東京支社、大阪支社、九州支社、 旭川営業所、青森営業所、盛岡営業所、 仙台営業所、和歌山営業所
工 場	■ 本社工場、白石工場、旭川工場 伊勢原工場
子 会 社	■ プリントハウス株式会社 株式会社味香り戦略研究所 株式会社まち・ひと・しごと総研
関 連 会 社	■ 株式会社あるた出版

取締役・監査役

代表取締役会長	■ 加藤 優
代表取締役社長	■ 片岡 廣幸
常 務 取 締 役	■ 菊池 健司 ■ 高谷 真琴
取 締 役	■ 菊地 弘人 ■ 小林 直弘 ■ 小柳 道啓
取締役(監査等委員)	■ 小笠原 博 ■ 山川 寛之 ■ 川崎 光夫
顧 問	■ 川 一男

株式の状況

発行可能株式の総数	■ 8,000,000株
発行済株式の総数	■ 3,060,110株
株 主 数	■ 821名

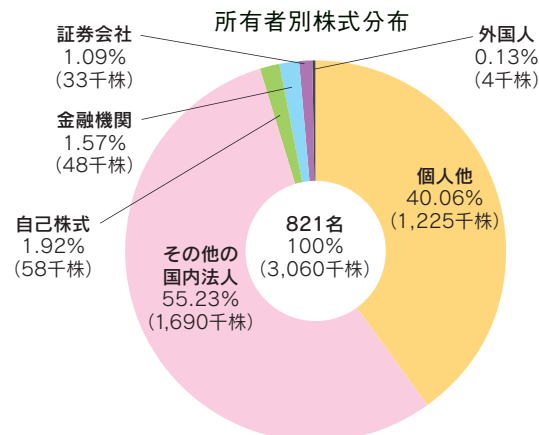
注)自己株式含む。

大株主の状況

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
合同会社実力養成会	■ 793	25.91
総合商研従業員持株会	■ 155	5.09
大日精化工業株式会社	■ 140	4.57
株式会社小森コーポレーション	■ 140	4.57
日藤株式会社	■ 140	4.57
株式会社光文堂	■ 100	3.27
小松印刷株式会社	■ 100	3.27

※自己株式58,900株は上記持株数から除外しております。

株主分布状況



株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月開催
基準日	定時株主総会 毎年7月31日 期末配当金 毎年7月31日 中間配当金 毎年1月31日 その他必要がある時は、予め公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載して行います。 (電子公告掲載URL http://www.shouken.co.jp/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
証券コード	7850

お問い合わせ

総合商研株式会社 企画管理本部
〒007-0802 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
電話:011-780-5677(代表)
<http://www.shouken.co.jp/>

株主優待のご案内

毎年7月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上の株式を保有されている株主の皆様に、次の株主優待を実施しております。

- ☐ 北海道の特産品(3,000円程度)のお届け
- ☐ 年賀状印刷の期間限定早期受付割引サービス
(通常料金から30%の割引)



総合商研株式会社

このビジネスレポートは、石油使用量と揮発性有機溶剤の発生を抑える為の植物油インキを使用し、回収廃液を発生させない「水なし印刷」方式で印刷しております。

